No.２６６９

シロヤシオには早いけどきつい登りを楽しもう？

檜　洞　丸

実施日　２０１４年５月６日(火・祝)
天　候　曇り時々晴れ
リーダー　白石　恵美子
参加者　島本陳重、山崎富美江、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、石附智江、石附智子、石附恵理子、小名秀鋭、佐藤政司、渋谷京子、白石恵美子　　計13名
費　用　電車　1,544円（新宿起算）
バス　2,360円　計3,904円
タイム　新松田駅(🚌7:30)西丹沢自然教室BS(8:41~8:50)檜洞丸登山口(8:59)ゴーラ沢出合(9:45~9:50)展望園地(10:38~10:45)分岐(11:55)檜洞丸(12:15~12:55)分岐(13:00)展望園地(13:58~14:06)ゴーラ沢出合(14:50)西丹沢自然教室BS(15:30~15:35)新松田駅(16:45)
標高差1,061m　実働5時間40分

西丹沢自然教室で登山届を出し、車道を10分弱歩くと登山口標識が右側にあり、登山道へ入る。濡れた沢筋を滑りやすいので慎重に登る。比較的平坦な道になり、木の橋を何度も渡りながら進む。途中、遠くに芽吹きと新緑と山桜の織り成す景色が素晴らしい。

登山口から45分ほどでゴーラ沢出合に着く。沢を滑らないように渡る。

ゴーラ沢出合からは急登が続く。急な梯子が1ヶ所、鎖が数ヶ所あるが、鎖につかまらないと登れないほどではない。数十年に1度しか咲かないという笹の花の蕾を見ることができたのは幸運か(？)笹は枯れる直前に花をつけるらしい。

しばらく登ると小広い場所がある。そこが展望園地かどうか迷ったが、皆がそうだろうと言うので、そこで短い休憩を取る（下の巻道に下りたら確かに「展望園地」の標識があった)。

天気が良ければ富士山や畦ヶ丸が見える筈だが残念ながらガスで見えないので、想像で我慢。

展望園地を過ぎるとミツバツツジが元気をくれる。「山頂まで0.8ｋｍ」と書かれた標識のところにベンチがある。そこから石棚山分岐では辛い急登が続く。分岐からは、なだらかな登りで木道が続く。

天気が良ければ富士山や南アルプスの大展望が望めるとのことだがほとんど展望はない。木道の脇にはコバイケイソウの群生があり、花の咲く季節ならさぞかし綺麗だろう。しかし、800ｍと言うのは短いようで長い。やっと山頂に着き、ランチタイム。残念ながら展望はない。

証拠写真を撮り、能がないが、同じ道を下る。下りの時は展望園地から畦ヶ丸が、あまりくっきりではないが望めた。

途中、ゴーラ沢出合の手前のベンチで、バスの時間をIさんが見てくれ、まあ、焦らず、バスに間に合えばラッキーくらいの気持ちで下る。

そしてバスの時間にほぼピッタリに西丹沢自然教室バス停に着く。「いやあ、リーダー、流石ですね」なんちゃって(？)展望はほとんどなかったし、タイトル通り、シロヤシオも見られなかったけれど、きつい登りを楽しみ、目も覚めるような新緑に心が洗われ、癒やされましたか。そうなら嬉しいですね。また、一緒に歩きましょう。

（記・白石　恵美子）
（写真提供・伊藤久雄／石原勝正）